

三峰山 山行報告

1. 目的 地：三峰山（みつみねさん 605m） 栃木県栃木市 / 鹿沼市

2. 日 程：平成19年2月25日（日）

3. 天 候：晴れ

4. 参加者&配車：参加者8名（男性2名・女性6名）

5. 参 加 費：2,200円（ガソリン代・運転手謝礼・温泉入浴700円・事故保険料）

6. コースタイム：

御嶽山神社～奥の院～権現山～三峰山（昼食）～俱利伽藍不動～浅間大神～林道出合～御嶽山神社

9:15 10:35 11:30 12:00～13:00 14:15着

7. レベル：累積標高差 約690m、行動時間5時間 登山初級（B）

8. 山行状況：今回の山行の目的の一つが山麓にあるセツブンソウの自生地を訪ねることだった。三峰山の東麓にある「四季の森・星野」は丁度セツブンソウが見頃。この日、気温が低かったことと時間が早かったせいで下向きに咲いている花が多かったが、山裾の斜面を沢山のセツブンソウが福寿草を交えて埋めていた。隣接した平地にはロウバイ、紅梅、マンサク、サンシュユ等の早春の花木が花を咲かせて、ちょっとした桃源郷の雰囲気。

「四季の森」から車で1～2分の御嶽山神社駐車場に車を停めて歩き出す。社殿脇のコンクリート階段を登ると次々と拝殿が現れ、急な石の階段になると左側には無数の石祠が続く。メンバーの一人から「口さん、ちゃんとお参りして邪念を払いなさい。」と忠告を受ける。

尾根に取り付くと右に数分で奥の院に到着。明るく見晴らしが良いので記念撮影。岩の上に3柱の神様が祀られているが、その内1体は女性の神様のようだった。この後は比較的楽な稜線歩きが続く。右側はずーとロープが張ってあり、その先は石灰岩の採石場になっているので近付いては行けない。この稜線でたった1輪だけ咲いていたウグイスカグラの花を見つけた。以前の私なら見落としていただろうけど、今の私はこの花への思い入れが強い。

三峰山山頂は三角点と小さな祠があるが、樹木に囲まれて視界は得られない。西に少し行くと採石場の上に出て、男体山を中心とした日光連山、白く雪化粧した白根山、皇海山・袈裟丸山などが綺麗に見える。ここで昼食。予報では厳しい冷え込みを覚悟したが、風もなくお日様が暖かで、食後はみんなで暫しのお昼寝タイムを楽しんだ。

下山コースにある俱利伽藍不動は鍾乳洞の中に祀られている。石造りの仏像の後ろに暗い穴が奥まで続いているが、入るのは躊躇われる。次に現れる浅間大神鍾乳洞は鉄柵で入口を塞いであった。下山路で 本さんが足を滑らせて悲鳴を上げた。その声が色っぽかったので女性陣で悲鳴の競演になった。「黄色い声ではない、茶色い声だ」と非難されたと嘆く人もいたが、「茶色が好き」という人がいて丸く収まった。その後は何故か上映中の映画「愛の流刑地」の話題で盛り上がり、「不倫するにはそれなりの条件と努力が必要」ということが分かった。

なんだかんだと言いながらもほぼ予定どおりの時間に下山した。栃木温泉「湯楽の里」は新しい施設で、露天風呂が広々として気持ち良かった。

三峰山 奥の院



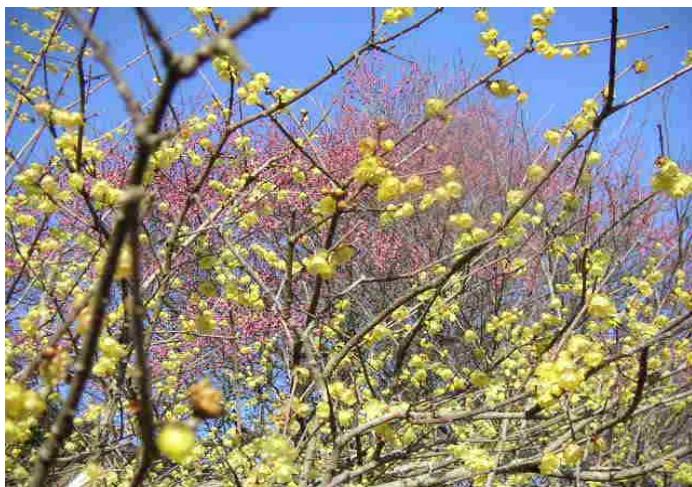
昼 寝 (集団自殺?)



セツブンソウ



ロウバイと紅梅



ウゲイスカグラ

